

若草の頃 (1944)

MEET ME IN ST. LOUIS

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 113分
初公開日 1951/03/06
公開情報 セントラル
映倫 G

【解説】

V・ミネリの実作で、この仕事が縁で彼はガーランドと翌年結婚した。公開が「若草物語」の後だったので、邦題はこうだが時代はぐっと下って今世紀初めの話で、そうした風物の面白さが巧みに作品の背景におかれている。“The Boy Next To Door”、“Have Yourself Merry Little Christmas”など名曲の宝庫で、純然たるミュージカルではないが、ジュディの唄を愉しむのに最適の一編でもある。とりわけ、博覧会場に向かう市電に乗って唄う“The Trolley Song”の昂揚感は得難く、バック・コーラスのアレンジなど見事なものだ。その演出にも舞台的な良さがある。だが、それ以上に素晴らしいのは、スピルバーグも真っ青の児童的イメージに貫かれた、ハロウィンやクリスマスの、恐怖感や一抹の寂しさを伴った画面作りで、美術出身らしいミネリの確かな造形センスをそこに見る。中西部セント・ルイスに住む、ごく平均的な中流家庭スミス家の次女エスターは隣家の新たな一員となったジョンに恋したが、勝ち気な彼女は優柔不断な彼に腹を立ててしまい、絶交状態にあったときに父のニューヨーク栄転の話が舞い込み、四女のトゥーティは雪だるまを壊しては泣き、姉と唄を口ずさんではまた涙。もちろん、ジョンと別れ難いエスターとて泣きたい気持ちは同じ。沈んだ家族の心中を察した父は本社配属を諦め、翌年の万博には一家やジョンたちも揃って見物にランタンを下げて繰り出すのだった。世紀の変わり目の改革の気運とノスタルジアとに引き裂かれ、後者を選択すれば結局、おらが村も文明開化であったーという案配。とにかくジュディの魅力全開の一編だ。

【クレジット】

監督	ヴィンセント・ミネリ	Vincente Minnelli
製作	アーサー・フリード	Arthur Freed
原作	サリー・ベンソン	Sally Benson
脚本	フレッド・F・フィンクルホフ	Fred F. Finklehoffe
	アーヴィング・ブレッチャー	Irving Brecher
撮影	ジョージ・フォルシー	George Folsey
作詞作曲	ラルフ・ブレイン	Ralph Blane
	ヒュー・マーティン	Hugh Martin
音楽	ロジャー・イーデンス	Roger Edens
	ジョージ・ストール	George Stoll
出演	ジュディ・ガーランド	Judy Garland
	マーガレット・オブライエン	Margaret O'Brien
	メアリー・アスター	Mary Astor
	ジョーン・キャロル	Joan Carroll
	レオン・エイムズ	Leon Ames

